

① 経営体の概要

- 所在地: 宮崎県西都市
- 経営体名: 株式会社ジェイエフズみやざき
- 契約農家: 61戸、255圃場、106ha

② 導入技術・システム (商品名・サービス名と企業名)

- システムを自社独自開発
- クラウドの利活用
 - ・圃場位置、面積、生育情報等のデータを一括管理し、効率的な業務を実現
 - ・フィールドコーディネーター(※)による定期巡回により生育状況、収穫時期、収穫量を予測
 - ※フィールドコーディネーターとは、契約農家圃場を巡回し、栽培状況を把握・管理するスタッフ

③ 導入の経緯

- 効率的な生産、加工、販売に繋げるため生産、加工、販売までの工程管理を行うインテグレーションモデルの実現
- ロボットトラクターや収穫機械等の活用による作業時間の短縮やセンシングによる圃場管理、収量の向上

④ 導入に当たり活用した補助事業等 (国、県)

- 生産管理システム: H22・23年サプライチェーン省資源化連携促進事業
- スマート機器: R1年スマート農業加速化実証プロジェクト

⑤ 導入してどうだったか (その1 導入前との比較、効果)

- 導入により契約農家の作付圃場の位置や面積、生育状況を正確に把握することが可能となったことから、収穫時期や生産量の予測が出来、工場稼働計画や圃場の品種別作付計画がより詳細に出来るようになった。
- ロボットトラクターやドローン、収穫機械等により作業時間の短縮につながった。

⑥ 導入してどうだったか (その2 改善してほしい点、課題)

- ドローンを活用した生育状況確認等を行うため、画像解析ソフトによる実証を行う。
- 農家毎の平準化や増収に取り組みたい
- スマート機器(ロボトラやドローン)の動作環境の整備が課題

